

# カリキュラム

機構施設名：岡山職業能力開発促進センター  
 実施機関名：株式会社日本能率協会コンサルティング

(A)IT理解	新技術動向	<b>RPAによる業務の自動化</b>
---------	-------	---------------------

到達目標	RPA(Robotic Process Automation)の概要を理解し、RPAを活用することで業務を自動化し、業務効率を向上できることを理解する。
------	--

指導内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	RPAの概要		(1)RPA(Robotic Process Automation)とは RPAはソフトウェア化されたロボットであることを踏まえて、その特徴や導入が想定される場面、従来の自動化技術との相違点などの基本事項を説明する。  (2)PRAの特徴 RPAソフトウェアが構成する導入形態、ロボットの動作を定義するシナリオ作成など PRAソフトウェアを選定するために必要となる視点を説明する。
2	RPAの導入事例		(1)PRAを適用した業務事例 ・「働き方改革」、「人手不足」などの社会的な課題を解決する手段としてRPAを導入する。 ・PRAの市場動向、導入企業の傾向や事例について説明する。  (2)失敗しないためのポイント RPA導入前に必要となるポイント(現行業務の可視化、業務改善の意識や視点)について整理する。  (3)PRAの導入手順 RPAの導入プロセスについて、導入計画の策定から導入後の検証・評価までの一連の流れについて説明する。	1.5
合計時間				3.0

●用意する機器・ソフトウェア(受講者用)		●用意する機器・ソフトウェア(講師用・その他)	プロジェクタ、スクリーン、ホワイトボード
●使用するテキスト	自作テキスト	●その他	